

事業区分	文化芸術事業	育成・創造事業					
事業名	鳥取県クラシックアーティスト・オーディション【支援】 (H24受賞者4名の支援、及び過去受賞者によるコンサートの開催)						
目的・内容	オーディション受賞者に活躍の場を提供するとともに、受賞者が互いに交流することにより、さらなる技術向上と意識啓発に繋げることを目的とする。また、未来の鳥取県を担い次世代を育むこの事業が、現在音楽活動に取り組む若い世代の活動の励みとなるよう、若年層の音楽活動者拡大につなげるとともに、県内の音楽愛好家の拡大を目的とする。 監修/NHK交響楽団 【使命】「多彩な人材育成とキャリア開発」「文化人口の拡大とレベルアップ」 【事業の柱】「人材育成のための機会の提供と各種研修制度の充実」						
実施内容 開催日時	【H24受賞者(声楽、管・打)への支援事業】 ・支援者:4名(声楽2名、サクソ1名、マリンバ1名) ・支援内容:レッスン等の経費助成、リサイタル開催経費助成及びアドバイス 【受賞者によるコンサートの開催】 ・事業名:「鳥取県クラシックアーティスト・オーディション受賞者によるコンサート」 ・開催日:平成26年2月1日(会場:とりぎん文化会館梨花ホール) 14時開演						
会場	とりぎん文化会館 梨花ホール						
入場料	一般:1,000円 学生:500円 友の会:1,000円						
実施状況	出演者	7名 (声楽2名、管1名[フルート]、弦3名[ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ]、ピアノ1名)					
	入場者数	354人	設定席数	1284席	集客率 28%		
事業費状況	予算額	収入	501,000円	支出	4,242,000円	収支比率	12%
	決算額	収入	333,500円	支出	4,072,855円	収支比率	8%
コンサート来場者アンケート (主なもの) 回答者数 160名	<p>回答率 45%、満足度 79%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取にも、若い素晴らしいアーティストがいることを知ることができ、貴重な機会でした。 ・アーティスト一人ひとりが輝いていて、とてもチャームングでした。 ・二部のトークは生の声が聞けて、よかったです。 ・鳥取県出身のクラシックアーティストのレベルの高さに驚きました。 ・こういう地元出身者を応援する機会がたくさんあるとよいですね。 ・せっかくのコンサート、小・中・高生がもっと来られるような工夫を。無料にしてもよかったのでは。 						
1次評価 (内部)	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでのオーディション事業を経て、育成期間にとらわれない継続的な支援や協働体制が必要であることを受け、今回の企画を開催した。結果としては、出演されたアーティストの満足も得ることができ、来場者のアンケートからも企画趣旨に賛同していただける意見も伺えた。 ・本公演の開催をとおり、オーディション事業の県民への認知度を高めることと、県民が若いアーティストを支援する意識開発を達成するきっかけとなった。 ・本公演を機に、次の演奏会の話や演奏種別にとらわれないアーティスト協働コンサートの可能性が広がり、互いの交流を深めることができたとともに、それぞれのアーティストの活躍の状況がよき刺激となり意識啓発に繋がった。 ・これまでの受賞者の現在の活躍の様子を広く紹介することができ、県内で聴く機会が少ない、県外で活躍するアーティストの演奏の鑑賞機会を提供できた。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の広報計画よりスタートが遅れたため、販売促進が十分ではなかったために、入場目標者数に達しなかった。 ・音楽活動に取り組む中高生に多く鑑賞していただけるような働きかけが十分ではなかった。 ・プログラム構成については、対談の時間を含め、十分に検討して進める必要があった。内容の充実を図り、鑑賞者のニーズも踏まえ、魅力あるプログラムの構成しなければならない。 						
2次評価 (財団評議員)	<p>【事業概要・プロセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手音楽家の方々のコンサートだけでなく、対談も設定されており現在の活動状況や音楽家同士の交流が図れていることが来場者にも分かりやすくて良かった。 ・公的資金の助成なくして、こういった事業を遂行するのは大変だと推測する。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オーディション受賞アーティスト同士の交流や活動状況、県内での公演開催状況など良く分かり、県内で現在活動している若手の参考になった。また、今現在県外で活動しているアーティストの活動意向なども分かり良かった。 <p>【課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生や中学生、小学生などの子どもたちが少なく、もう少し教室や各高校、中学など音楽を現役で行っている世代や指導者の方々へのPRもあっても良かった。 ・広報の不十分さが来場者の低調さにつながったのでは。 ・県内音楽教室や一般、高校生、中学生など専門的に音楽活動に取り組んでいる若手にもっとアピールできる機会となってほしい。また、若手に気軽にオーディション参加してオーディション経験をつんでもらえるような場になってほしいのでは。 ・若手アーティスト同士の交流や公演情報の交換などができるいい機会になってほしいし、また県内で活動するもっと若手の高校生や中学生、小学生なども交流を深められるような機会も持ってもらおうと、オーディション参加者や鑑賞者へつながるのではないかなと思う。 ・県内アーティストの活躍を今後も期待したい。もっともっと多くの方、若い方に「生の」クラシック演奏を五感で感じてほしい。テレビやCDで聞くのとは次元が違うということを肌で感じてほしい。企画は文句なしに素晴らしいので、次回以降の広報と(中高生の)動員に期待する。 ・来場者のアンケートから気になったのは、トークの時間帯設定と終演時間であるが、演者の満足と来場者の満足を同時に満たすのは大変である。 						
今後の対応、 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・次期指定管理の5年間の計画では、引き続きNHK交響楽団監修のもと、県内の優れたアーティストの発掘と育成、そして鳥取県の音楽文化を支える人材としての支援と活用(事業への起用など)を行うこととなる。育成・支援・活用体制を十分に整え、県民にとってもアーティストにとっても、価値ある事業として発展成長させていくことが重要である。 ・今回のコンサートは、24年度オーディション受賞者(4名)の支援と並行しての開催であり、これまでの受賞者と現在の受賞者の支援という広い括りで住み分けのうえ事業推進をしたが、受賞者主催リサイタル等、何かしら連携を図りながら相乗効果による広報を強化するべきであった。また、支援年においても監修であるNHK交響楽団と密に連携を取りながら事業を推進していく体制を整えることとする。 ・今後も支援の一環としてコンサートを企画するにあたって、受賞の有無に関わらず現在ご活躍されている方も数多くおられ、オーディション事業全体の中から出演アーティストを選定するなど、これまで発掘・育成してきた人材とさらにつながること、より充実したコンサートを目指し、県民全体で応援(支援)できる環境を整えることとする。また、本事業への出演に関わらず、今後につながる情報の提供や演奏会への斡旋、財団事業への起用など積極的な支援を継続することで、広い意味での「アーティスト支援事業」として県内の音楽活動の活性化にも繋がるものと考えている。 						